

① 基本事項

計画コード		22072		事業名		リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立事業		
事業手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()						
施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上				予算科目	会計	01:一般会計
	基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化					款	12:諸支出金
	施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進					項	01:基金費
	重点プロジェクト	-					目	03:リニア中央新幹線駅整備基金費
事業期間		H 8 年度 ～ R - 年度		主な根拠法令等		-		

評価分類

A1

担当部署

部	政策部
課	政策推進課 交通政策G

② 事業概要（P）

事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
リニア市内停車駅周辺の整備には、先行開業区間の事例からも多額の費用が必要となる。県期成同盟会における県内駅位置候補市でもある本市は、駅誘致を見据え、駅周辺整備費用の財源確保を計画的に図る必要がある。	市	リニア市内停車駅周辺の整備を展開する際の財源が一定程度確保できている。	リニア市内停車駅周辺の整備に活用できる財源として、計画的にリニア中央新幹線亀山駅整備基金の積み立てを行う。

③ 事業の実施状況（P・D）

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
事業計画		○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立		○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立		○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立		○リニア中央新幹線亀山駅整備基金の積立		
活動実績 (計画通り実施できたか)		リニア中央新幹線亀山駅整備基金に52,704千円を積み立て、令和4年度末積立残高を約19億円とした。		リニア中央新幹線亀山駅整備基金に56,530千円を積み立て、令和5年度末積立残高を約19億6千万円とした。						
計画額	事業費	事業費	50,000千円	52,704千円	50,000千円	56,535千円	25,000千円	25,000千円		
		国・県支出金		0千円		0千円				
		地方債		0千円		0千円				
		その他	2,200千円	4,737千円	2,200千円	9,122千円	2,300千円	2,300千円		
		一般財源	47,800千円	47,967千円	47,800千円	47,413千円	22,700千円	22,700千円		
決算額	事業費	事業費		52,704千円		56,535千円				
		国・県支出金		0千円		0千円				
		地方債		0千円		0千円				
		その他		4,737千円		9,122千円				
		一般財源		47,967千円		47,413千円				
①期間内計画額(R4-7)		150,000千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額		150,000千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	56,535千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	リニア中央新幹線亀山駅整備基金積立額		成果	千円	計画値	50,000	50,000	25,000	25,000
					実績値	50,000	56,535		
	リニア中央新幹線亀山駅整備基金残高	令和2年度末残高 1,802,324,765円	成果	億円	計画値	19.0	19.5	19.8	20.0
					実績値	19.0	19.6		
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	リニア中央新幹線亀山駅整備基金への計画的な積立てにより、積立目標額である20億円に対し、9割を超える基金積立てを行うことができ、リニア三重県駅周辺の整備事業を展開するための財源確保につなげることができた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市	リニア市内停車駅周辺の整備を展開する際の財源が一定程度確保できている。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	リニア三重県駅の設置決定に合わせ、リニア駅を生かしたまちづくりを早期に進めていくための財源として、引き続き着実かつ計画的な基金積立てを行っていく必要がある。また、名古屋以西のリニア中央新幹線のルートや駅位置の決定を見据えながら、駅位置や規模により費用も異なるため、基金積立て目標額について検討する必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 目標額(20億円)の達成に向け、本市の財政状況も考慮しつつ、着実に積立てを行っていく。また、リニア中央新幹線の整備進捗状況に注視しつつ、先行開業区間の事例研究や駅候補地における調査検討を進めることで、基金積立て目標額の見直しについての検討を深める。	令和7年度以降で対応するもの 名古屋以西のリニア中央新幹線のルートや駅位置の公表を見据えながら、駅位置や規模により費用も異なるため、基金積立て目標額の見直しを行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

【履歴】

1次評価者	政策部 政策推進課 交通政策GL 服部 任之
最終評価者	政策部 政策推進課長 藤尾 春樹